

山梨県がん対策推進協議会

2014年6月2日

若尾直子

がん対策推進基本計画 (平成24年6月閣議決定)

Basic Plan to Promote Cancer Control Programs (Approved in Jun. 2012)

重点的に取り組むべき課題

(1) 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成

(2) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

(3) がん登録の推進

新(4) 働く世代や小児へのがん対策の充実

全体目標【平成19年度からの10年目標】

(2) がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

(2) すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上

新(3) がんになっても安心して暮らせる社会の構築

分野別施策及びその成果や達成度を計るための個別目標

1. がん医療

- ①放射線療法、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進
- ②がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
- ③がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ④地域の医療・介護サービス提供体制の構築
- ⑤⑤医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組
- ⑥その他(病理、リハビリテーション、希少がん)

2. がんに関する相談支援と情報提供

患者とその家族の悩みや不安を汲み上げ、患者とその家族にとってより活用しやすい相談支援体制を実現する。

3. がん登録

法的位置づけの検討も含め、効率的な予後調査体制の構築や院内がん登録を実施する医療機関数の増加を通じて、がん登録の精度を向上させる。

4. がんの予防

平成34年度までに、成人喫煙率を12%、未成年の喫煙率を0%、受動喫煙については、行政機関及び医療機関は0%、家庭は3%、飲食店は15%、職場は平成32年までに受動喫煙の無い職場を実現する。

5. がんの早期発見

がん検診の受診率を5年以内に50%(胃、肺、大腸は当面40%)を達成する。

6. がん研究

がん対策に資する研究をより一層推進する。2年以内に、関係省庁が連携して、がん研究の今後の方向性と、各分野の具体的な研究事項等を明示する新たな総合的がん研究戦略を策定する。

新 7. 小児がん

5年以内に、小児がん拠点病院を整備し、小児がんの中核的な機関の整備を開始する。

新 8. がんの教育・普及啓発

子どもに対するがん教育のあり方を検討し、健康教育の中でがん教育を推進する。

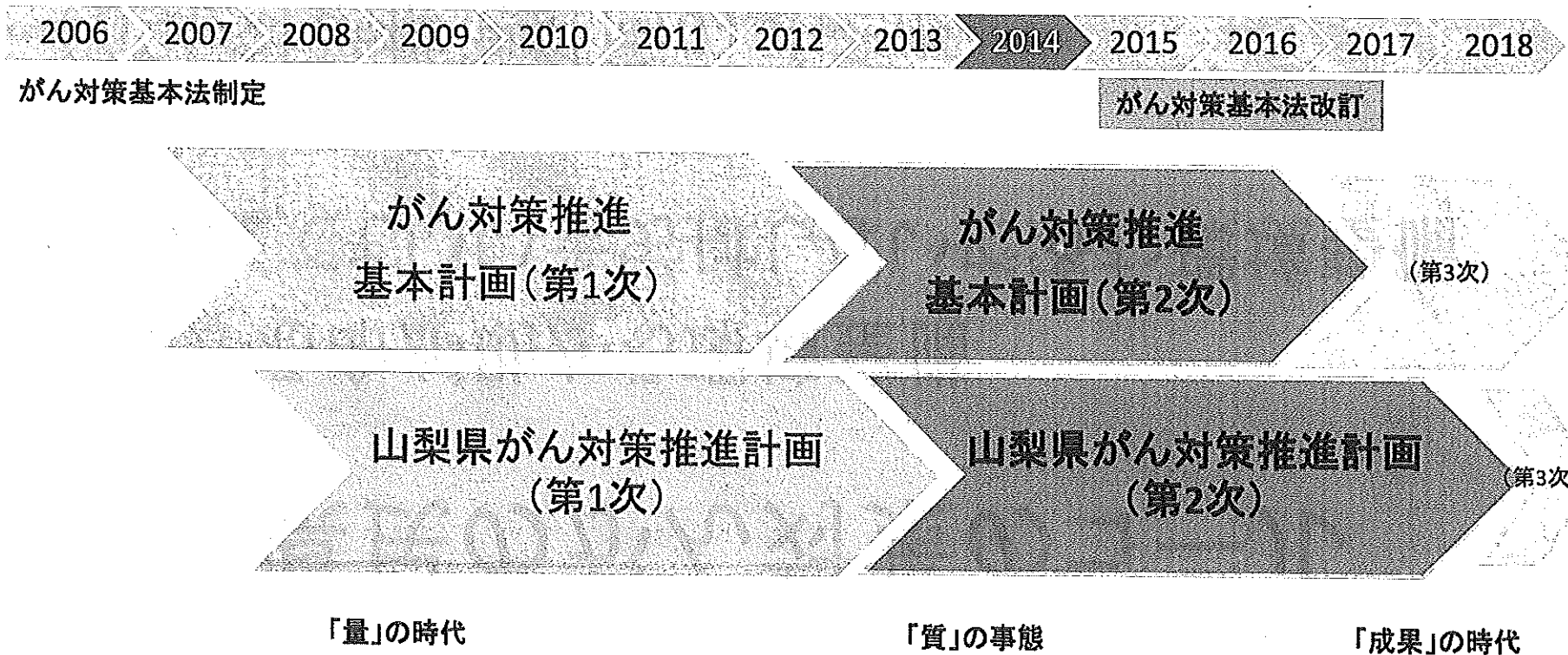
新 9. がん患者の就労を含めた社会的な問題

就労に関するニーズや課題を明らかにした上で、職場における理解の促進、相談支援体制の充実を通じて、がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築を目指す。

現在の位置

PDCAサイクルの重要性⇒アウトカム指標の重要性

- がん対策は「第2次」の中間評価期、10カ年計画の終盤へ「第3次」と次の10年を構想する時期



県民のがん対策のゴール

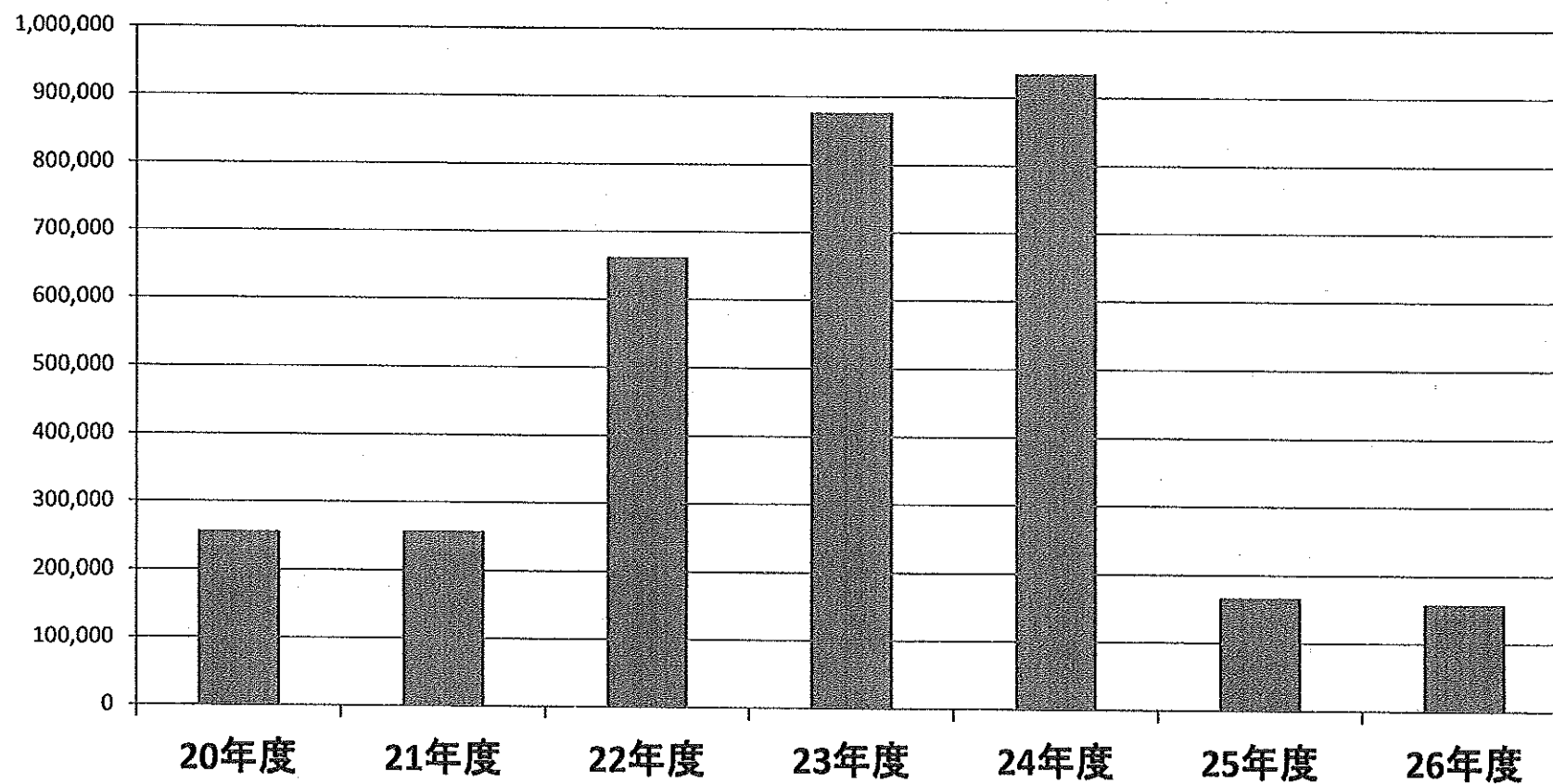
- 助かる命が助かる環境整備
- しなくてもいい苦労はしないで済む環境整備

(がん対策推進計画のゴール)

- 1 がんによる死亡者の減少
- 2 がんによる苦痛の軽減と療養生活の維持向上
- 3 がんになっても安心して暮らせる社会の構築

山梨県のがん対策予算推移

山梨県がん対策予算(単位:千円)



※ 別添資料Ⅱ参照

他県の特筆すべきがん対策

◆ 秋田県

- ✓ がん対策推進計画進行管理費・・・740千円
- 「秋田県がん対策推進計画」の進行管理について、がん対策推進委員会において各施策を検討する
- ✓ 圏域等がん検診受診実態調査・・・0千円（医師会自主事業）
県内医療機関の協力により、がん検診実施状況を把握し、市町村が行うがん検診と合わせ県内のがん検診実施状況について把握する（H25年度からは医師会自主事業）
- ✓ 県民こそぞってがん検診受診運動推進事業・・・28,866千円
- がん検診受診率向上を目的に、県内約60の団体が参画する「秋田県がん検診推進協議会」において、それぞれの立場で啓発に取り組みむほか、がん検診推進員を雇用し、出前講座、タウンミーティング等によるがん検診受診の機運醸成を図る
- ✓ がん教育モデル事業・・・2,215千円
学校現場において、専門家によるがんに関する正しい知識や生きる力を育むことを目的に授業を行う。
- ✓ がん患者団体活動支援事業・・・1,236千円
がん患者団体が行うがんサロンの普及、ピアサポート研修、普及啓発イベント開催、情報提供などの取り組みに対し補助

◆ 福井県

- ✓ がん対策推進計画改定事業・・・350千円
平成19年度に策定した福井県がん対策推進計画の改定
- ✓ がん専門医等育成事業・・・27,326千円
放射線治療医、腫瘍内科医のネットワークを活用して、診断力向上、若手医師の養成を図る。・病理診断ネットワークの整備（バーチャルスライド整備）
- ✓ 元気長生きがん予防推進事業・・・52,178千円
がん検診受診者拡大のため個別受診勧奨としての受診券発行・がん検診受診勧奨センターからの電話・郵便勧奨・市町受診率アップ推進に検診経費の補助・小規模事業所への出前がん検診・がん検診推進医（かかりつけ医師）からの受診勧奨の推進・がん検診受診促進キャンペーン（子宮の日・母の日・父の日）

◆ 滋賀県

- ✓ 滋賀県がん対策推進協議会・・・512千円
協議会の開催（がん対策推進計画の進行管理、推進）
- ✓ がんサロン事業・・・120千円
がん患者サロン（がん診療連携拠点病院のない高島圏域においてがんサロンを開催）
- ✓ 相談支援実態把握事業・・・1,842千円
相談支援の充実のために、以下を行う
 - ・就労実態調査
 - ・小児がんワークショップ
- ✓ 遠隔病理診断体制整備事業補助金・・・46,154千円
病理医不在の病院においても診断できるよう以下を行う
 - ・遠隔診断を行うための機器整備
 - ・従事者研修

◆ 鳥取

- ✓ がん対策推進体制の強化・・・1,112千円
医療、大学、がん患者など、各団体の代表者を委員とし、広い立場から本県のがん対策の取組状況を評価・検討する「鳥取県がん対策推進県民会議」を開催。
- ✓ がん専門医等資格取得支援事業・・・1,417千円
がんの専門医資格取得を促進させるため、がん治療に係る各学会が認定する専門医等の新規資格取得を目指す医師に対し、受験に必要となる旅費等の費用の一部を支援する
- ✓ がん専門医療従事者育成支援事業・・・8,167千円
専門医療従事者(認定看護師等)の育成を推進する拠点病院に対して育成経費の一部を支援する
- ✓ がん検診受診率向上プロジェクト2013・・・32,484千円
【①がん検診受診率向上総合啓発事業】
【②がん検診推進企業アクション】
【③出張がん予防教室事業】
【④休日がん検診支援事業】
【⑤市町村がん検診表彰事業】
【⑥がん対策推進強化体制整備】
【⑦胃がん検診死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業】
⑧地域のがんを考える協議会・・・1,344千円(①～⑦とは別に予算確保)
各圏域(県東部、中部、西部)の関係者が連携し、地域に密着した医療体制、検診体制、受診率向上等、地域の特性に応じたがん対策について協議
- ✓ 子どものところからのがん予防教育推進部会・・・2,410千円
がん対策推進部門、教育関係者、医療関係者等による部会を設置し、子供へのがん予防教育推進に取り組む。
- ✓ 小児がん対策推進事業・・・710千円
小児がん患者とその家族に対する心理社会的な支援や相談支援の体制充実を図るとともに、小児がん患者家族への支援を行う。

◆ 徳島

- ✓ 企業等と共に考えるがん検診コラボ事業・・・1,240千円
商業施設等とのコラボ
- ✓ 次世代健康教育事業・・・700千円
学校への出前講座
- ✓ 心に響け！がん検診メッセージ事業・・・700千円 患者団体への委託事業
高校・大学への出前講座
- ✓ がん検診受診率アップ プラスワン事業・・・3,000千円
県民へのアンケート調査をもとに市町村の取り組みに補助
- ✓ 巡回検診車整備事業・・・66,000千円
精度の高い検診のための整備事業

◆ 愛媛

- ✓ 愛媛県がん対策推進委員会及び専門部会の設置、運営・・・1,704千円

県がん対策推進委員会及び専門部会を設置し、施策等の進捗状況、推進方策等を協議する。

✓ がん検診実態把握事業・・・2,084千円

これまで把握できていなかった事業所等におけるがん検診の実態を把握し、がん対策推進委員会における受診率向上等の協議に資する。

✓ がん相談・情報提供支援事業・・・2,070千円 患者団体への委託事業

がん患者・家族の不安や疑問に適切に対応し、生活を支援するために相談支援体制の充実を図るとともに、患者が必要とする情報の把握等により、患者の立場に立った支援体制の整備を促進する。

✓ 町なかがん患者サロン運営事業費・・・9,009千円 患者団体への委託事業

がん患者団体が実施する、中心市街地におけるがん患者サロンの設置、運営事業等に助成する。

✓ がん医療の地域連携強化事業・・・14,176千円

コーディネーターを配置し、拠点病院等での治療計画に応じた治療が終了したがん患者等に対して、がん患者の意向を踏まえた地域医療サービスの紹介等を行う。

✓ がん患者・家族支援推進事業・・・68,182千円

四国がんセンターが行う、がん患者・家族への情報提供や交流活動の推進及び地域の医療機関への支援機能の充実、強化に向けた取り組み等に助成する。

◆ 高知

✓ 高知県がん対策推進協議会・・・748千円

高知県がん対策推進計画を計画的・総合的に推進するとともに、計画の進捗管理や効果検証を行う。

✓ がん相談患者団体支援事業・・・13,983千円 患者団体への委託事業

がん患者からの相談に応じる窓口を開設する。

✓ 患者等満足度等調査事業・・・979千円

がん患者等を対象に、受領している医療サービスに対する満足度及び就労実態を調査・集計・分析する。

◆ 山梨県

✓ がん対策推進協議会の開催・・・136千円

山梨県がん対策推進計画の進捗状況や目標達成の評価

✓ がん対策企業連携強化事業・・・0千円

がん検診受診率向上協定企業の増及び企業、団体によるがん予防サポートチームの募集、拡大

✓ 子から親へのメッセージ事業・・・427千円

保育園、幼稚園の協力を得て、がん検診の重要性を啓発する内容のメッセージカード(子どもの描く親の絵付き)を子から親へ送り、がん検診初診者の拡大を図る

✓ 山梨県がん患者サポートセンター整備事業・・・1,646千円

がん患者及び家族が、医療面、療養面、心理面の相談をワンストップで受けられる体制の整備

✓ がん患者ピアサポート研修事業・・・213千円

ピアサポートに関心のある患者等に研修会を行い、ピアサポーターを養成することで、患者同士による

相談支援体制の推進を図る

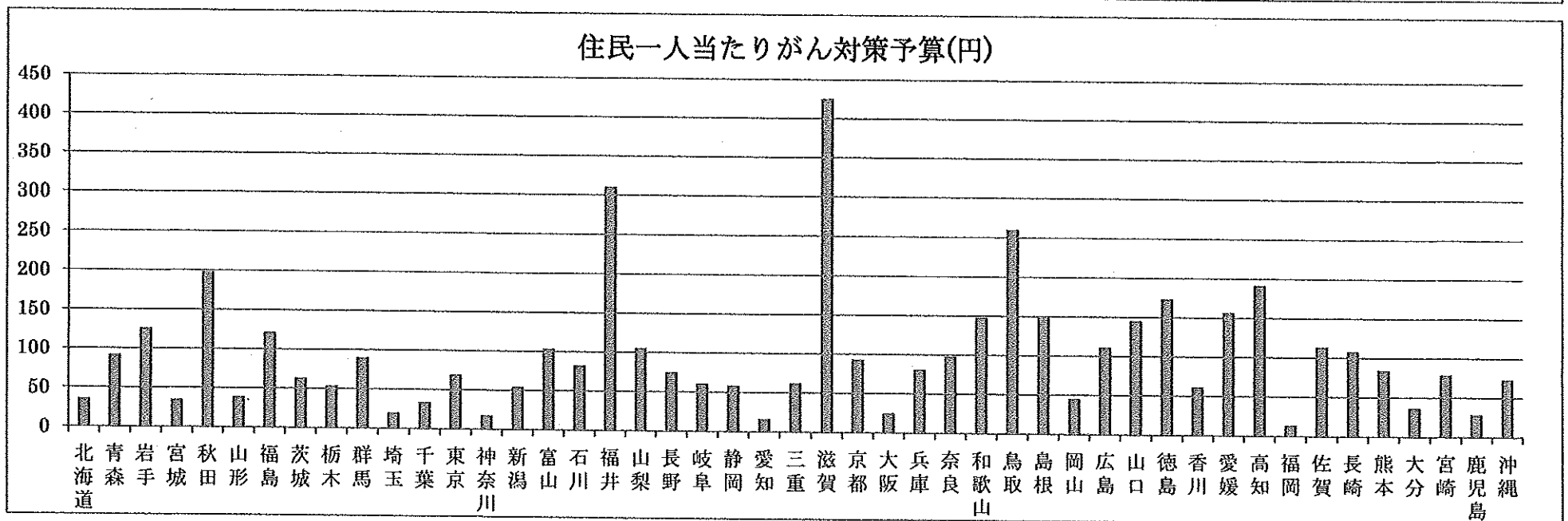
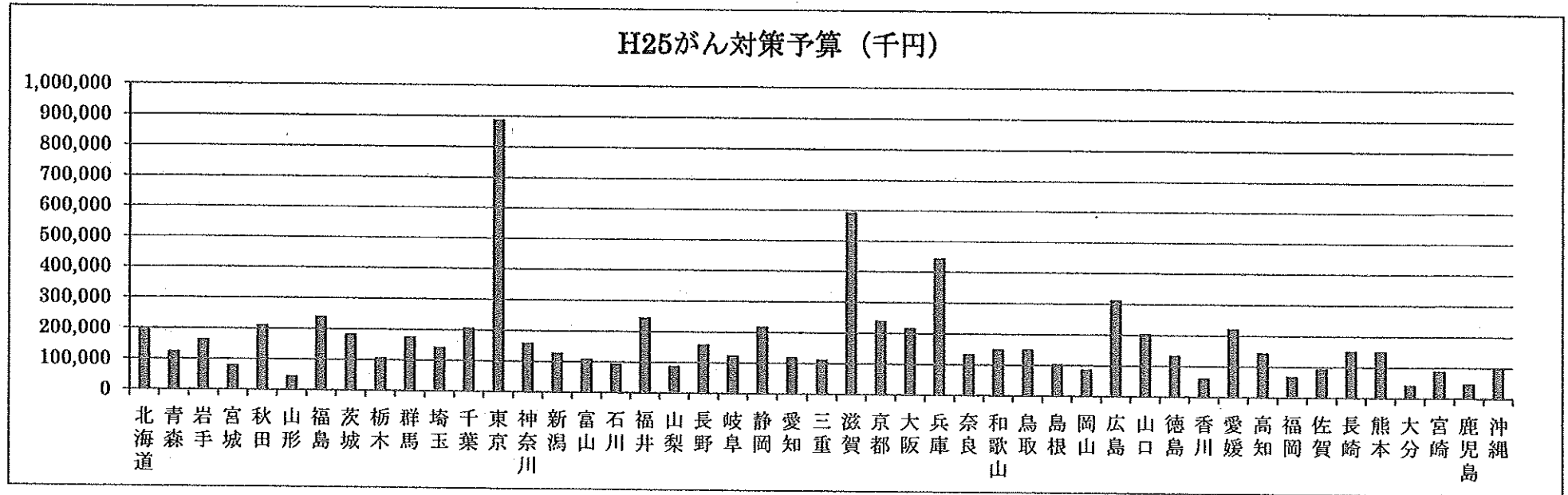
✓ ゲノム解析センター研究事業・・・20,000千円

通院加療がんセンターに併せて設置されたゲノム解析センターにおける研究支援

※ 若尾資料 I・IIとも、がん政策情報センターHP「都道府県別のがん対策の取り組みと予算」等を参考に、ハード面での設備費や生活習慣病対策費等を除いた金額をがん対策予算とし、主として「2011年、出典：人口動態統計」を使用して作成。

他県のがん対策予算 (H25年度)

出典：がん政策情報センター「都道府県のがん予算」を参考にし、各都道府県のHPから得た情報で若尾作成



がん対策評価の指標

<全体目標>

患者向けアンケート 13+3 (3問は緩和から)

		そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう思 わない	そう 思わない
1	からだの苦痛があると感じていますか					
2	からだの痛みがありますか					
3	気持ちがつらいと思いますか					
1	納得のいく治療選択ができたと思いますか					
2	妊孕性温存に関する情報が提供された40歳未満のがん患者の割合					
3	セカンドオピニオンの説明を受けたがん患者の割合					
4	希少がん患者の診療日から治療開始まで待ち時間					
5	拠点病院のがん相談支援センターの利用者満足度					
6	拠点病院の初発がん患者のうち必要な治療等の情報が得られたものの割合					
7	拠点病院の初発がん患者のうち受診施設から治療選択に必要な情報が得られた者の割合					
8	拠点病院のがん患者のうち治療中に社会からのがんに対する偏見を感じた者の割合					
9	拠点病院のがん患者の臨床試験の認知度					
10	がん休職後の復職率					
11	がん治療のために退職した患者のうち新規就労した者の割合					
12	治療にかかる費用のために治療変更・断念した患者の割合					
13	就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合					

がん対策全体目標評価のためのがん診療連携拠点病院に行われる予定の「診療体験調査」質問項目案

①医療の進歩

1 あなたはがんの医療が進歩していると感じていますか

②適切な医療提供体制

2 あなたは、がんによる体の痛みがありますか

3 あなたは、がんによる心の痛みを感じていますか

4 あなたはご自身に合った治療や支援を受けていると感じていますか

5 この1年間にあなたは治療や支援が途切れてしまい、困った経験がありますか

6 あなたは自分らしい日常生活を送れていると感じていますか

7 あなたは自分の生活に見通しが持っていると感じていますか

8 あなたは治療や支援を受けるにあたって、あなたのことを尊重されていると感じますか

9 あなたはご自身が受けている自分の治療や支援について納得していますか

③適切な情報提供・相談支援

10 あなたは、がんに関して、正確な情報が提供されていると感じていますか

11 がんに関する情報について、患者さんのつらさに配慮した情報提供がなされていると感じていますか

12 がんに関する情報について、患者さんが生き方を選べるような情報提供がなされていると感じていますか

13 あなたは、がんに関して、必要な相談の場が準備されていると感じていますか

④経済的困窮への対応

14 経済的な負担のために治療を変更・断念したことがありますか

⑤家族の介護負担の軽減

15 あなたはご家族の生活の質も保たれていると感じていますか

16 あなたは、ご家族に看護や介護の負担をかけていると感じていますか

17 あなたは、家族に過度な負担をかけることなく、必要なサービスを利用できていると感じていますか

⑥がんになっても孤立しない社会の成熟

- 18 あなたは、病気があってもきちんと社会の一員として認められていると感じられていますか
- 19 あなたは、ご自身の病気と向き合えていると感じていますか

※ 赤字はよりアウトカムに近い構成要素

がん対策分野別指標

分野別施策指標(47 指標+44 構造指標)

医療分野

放射線療法、化学療法、手術療法のさらなる充実（医療の質の均てん化）

- 1 外来放射線照射診療料をとっている拠点病院の割合
- 2 直線加速器による定位放射線治療をとっている拠点病院
- 3 IMRT加算をとっている拠点病院の割合
- 4 経口抗悪性腫瘍剤の処方管理状況
- 5 拠点病院で化学療法オーダーを電子化している割合
- 6 外来化学療法加算をとっている拠点病院の割合
- 7 化学療法で院内登録レジメン制度を運用している拠点病院の割合
- 8 化学療法レジメンを公開している拠点病院の割合
- 9 化学療法患者にジェネリック医薬品を使う選択肢を提示している拠点病院の割合
- 10 標準的治療実施割合
- 11 拠点病院における手術・化学療法クリティカルパスのバリエーション分析*実施状況
- 12 がん治療で生じた安全問題を検討している拠点病院の割合
- 13 診療ガイドラインの数
- 14 患者用診療ガイドラインの数
- 15 拠点病院における5大がん患者の術後30日以内の死亡率
- 16 拠点病院における5大がん(およびほかのがん)患者の5年生存率
- 17 拠点病院の5大がん患者の診断から治療開始までの日数
- 18 5大がん患者の自圏内受療率

チーム医療の推進、がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成

- 19 納得のいく治療選択ができたがん患者の割合
- 20 医師以外の職種がインフォームドコンセントに必ず参加する拠点病院の割合
- 21 医療従事者ががん告知や余命告知のための研修を実施している(マニュアル等がある)拠点病院の割合
- 22 若年性がん患者の妊孕性温存処置ができる(または他施設を紹介している)拠点病院の割合
- 23 妊孕性温存に関する情報が提供された40歳未満のがん患者の割合
- 24 セカンドオピニオンの説明を受けたがん患者の割合
- 25 拠点病院のセカンドオピニオン外来受診件数
- 26 抗がん剤のミキシングを9割以上薬剤師が担っている拠点病院の割合
- 27 転移・再発5大がん患者の化学療法を内科医が担当している拠点病院の割合
- 28 拠点病院でキャンサーボードで検討された患者の割合
- 29 定期合同カンファレンスを実施している拠点病院の割合
- 30 横断的な医療チームによるがん治療サポートの体制がある拠点病院の割合
- 31 臓器横断的ながん臨床教育制度がある都道府県がん診療連携拠点病院の割合
- 32 がん診療を統括する診療部が設置されている拠点病院の割合
- 33 がん化学療法看護認定看護師が設置されている拠点病院の割合
- 34 がん専門薬剤師又はがん薬物療法認定薬剤師が設置されている拠点病院の割合
- 35 放射線治療部門に専任看護師が配置されている拠点病院の割合
- 36 放射線治療専門医の配置されている拠点病院の割合
- 37 がん薬物療法専門医が配置されている拠点病院の割合
- 38 リハビリテーション専門医が配置されている拠点病院の割合
- 39 病棟薬剤業務実施加算を算定している拠点病院の割合

地域の医療・介護サービスの提供体制の構築
 地域連携（がん）
 小児がん、希少がん、病理診断、リンパ腫の充実

- 40 口腔ケアプロトコール整備をされている拠点病院の割合
- 41 患者が希望した未承認薬・適応外薬の審査の場を整備している拠点病院の割合
- 42 拠点病院から地域医療機関に紹介された患者で別の医療機関に通院した者の割合
- 43 拠点病院で地域連携室等に専従・専任で配置されている人員数
- 44 地域の医療施設のうち拠点病院が適切な連携を行っている施設との割合
- 45 拠点病院医師らと在宅療養担当医師らとの合同カンファレンスの実施割合
- 46 がん患者・家族、市民への講演会を実施した拠点病院の割合
- 47 在宅療養中のがん患者で必要時医療従事者に連絡が取れる者の割合
- 48 介護保険を利用している40～64歳のがん患者の介護サービス満足度
- 49 在宅療養中のがん患者の医療に対する満足度
- 50 希少がん患者の診療日から治療開始まで待ち時間
- 51 希少がんガイドラインがある希少がんの割合
- 52 院内学級制度がある施設の割合
- 53 小児がん患者と家族のための宿泊施設を設備している施設の割合
- 54 小児がん患者の初回治療集積割合
- 55 小児がん患者への外来化学療法実施件数
- 56 小児がん患者のうちキャンサーボードで検討された患者の割合
- 57 小児がん患者の長期フォローアップ外来を開設している施設の割合
- 58 病理専門医が1名以上設置されている拠点病院の割合
- 59 拠点病院に入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合
- 60 外来でがん患者にリンパ浮腫ケアを実施している拠点病院の割合

医薬品・医療機関の早期開発・承認等に向けた取り組み強化

- 61 ドラッグラグ・デバイスラグ
- 62 アンメットメディカル・ニーズ
- 63 開発着手ラグ
- 64 未承認薬・適応外薬の申請数
- 65 希少がんに対する医薬品の開発状況
- 66 先進医療技術開始数

がん研究の推進

- 67 がんの第Ⅰ相およびⅢ相臨床試験の実施数
- 68 審査された臨床試験の数
- 69 バイオバンクの活動
- 70 医師・研究者主導臨床試験の質
- 71 ガイドラインの改定

がんに関する相談支援と情報提供のさらなる充実

- 72 がんの相談支援センターが設置されている2次医療圏の割合
- 73 がん相談支援センターに専従の相談員が設置されている拠点病院の割合
- 74 医療ソーシャルワーカーおよび看護師が設置されている拠点病院の相談支援センターの割合
- 75 がん対策情報センターで情報提供している拠点病院の診療実績等の項目数
- 76 拠点病院の治療実績数を情報提供されている希少がんの数
- 77 拠点病院のがん相談支援センターの利用者満足度
- 78 ピアサポーターによる相談支援を実施している拠点病院の割合
- 79 拠点病院の初発がん患者のうち必要な治療等の情報が得られたものの割合
- 80 拠点病院の初発がん患者のうち受診施設から治療選択に必要な情報が得られた者の割合
- 81 サポートグループや患者・家族対象の勉強会等を実施している拠点病院の割合

研究開発分野

社会分野

がんの教育・普及啓発活動の推進	82	小中学校でのがん教育実施率
	83	拠点病院のがん患者のうち治療中に社会からのがんに対する偏見を感じた者の割合
	84	拠点病院のがん患者の臨床試験の認知度
	85	小学6年生のうち「早期発見・治療で治るがんがある」と回答した者の割合
	86	学校でならったがんについて家族で話し合ったことがある小学6年生の割合
	がん患者の就労を含めた社会的な問題の軽減	87
88		がん治療のために退職した患者のうち新規就労した者の割合
89		治療にかかる費用のために治療変更・断念した患者の割合
90		時短勤務、在宅勤務制度等がん治療と就労の両立支援をしている中小企業の割合
91		就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合

